

## 研修等 報告書

平成 30 年 12 月 10 日

三田市議会議長 厚地弘行 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	印
	議員名	小杉崇浩
参加者氏名	小杉崇浩	
講演会等研修名	地方創生 成功は人にあり！～地域創生 実践人財論～	
研修事項	<p>1. 地方創生と地域創生 2. 地域創生の構成と政策主体の行政 3. 従来の地域リーダーの資質 4. 人材養成の研修事例の現状 5. 今、求められる地域リーダー像 6. 地域人材から地域人財への進化 7. 地域創生 何からは始めるのか? 8. 情報共有、役割分担、出番創出、事業構想=順番重視 9. 「五感六育」度合い 10. 「Why so? So what?」の繰返しから得るもの 11. 期限は3年間×2回が原則 12. まちネットワーク図・産業関連図 13. まち育ては、ひと育てにあり</p>	
日 時	平成 30 年 10 月 25 日 (木曜日) 10:30～17:30	
場 所	アットビジネスセンター池袋駅前別館	
所 見	<p>講師は、小樽市職員時代に産業振興に取り組み、その後、内閣府企画官（地域活性化担当）として活躍。現在は、東京農業大学教授、内閣府シティマネージャーであり、全国各地で地域創成の支援をされておられる方でした。NHKの「プロフェッショナル仕事の流儀」他、マスコミにも多数出演されておられます。以上のような取り組みをもとに、実践に基づく、大変興味深い講義でした。</p> <p>前半は、ご自身の生い立ちから小樽職員時代の話が中心でした。幼少期から、自分の欠点を自覚し、それを改善しようと具体的に目標を決めて取り組んでいたというエピソードや大人の中で自分の立場、役割を常に考えながら行動していた話等、現在の木村氏の礎を築いた話は大変興味を引きました。</p> <p>後半は、木村氏の提唱する「五感六育」（食・観・香・体験・聴、知育・木育・食育・遊育・健育・職育）を中心とする地方創生の成功の秘訣を教えてくださいました。しかし、秘訣と言っても、決して奇</p>	

	<p>抜なものではなく、地域のことをしっかり調べ、その特性や強みに着目し、地場の産業や文化を最大限生かすことが大切であるとのことでした。</p> <p>木村氏の考える「まちづくり」とは、産業・歴史・文化を徹底的に掘り起こし（まち育て）、子ども達が地域に愛着心を持てるように（ひと育て）、部分・個別ではなく、全体最適化志向で、知り気付く機会を創出することであるとのことでした。</p> <p>そして、それを実践できる地域創生プロデューサーの育成が必須であるとのことでした。実際、木村氏は全国で木村塾という人材育成の事業を進めており、大きな成果が上がってきているとのことでした。成功事例として、行方市、鹿屋市、中津市、東根市等の紹介があり、いずれも地域のリーダーが地域の実状を徹底的に調べ、尊重したうえで活動していることが特徴とのことでした。特に、鹿屋市での「やねだん」と呼ばれる、住民一人ひとりを主役にして、住民が地域課題を積極的に解決していく活動は、過疎地域の活性化の手法として大変参考になると思いました。</p> <p>まちづくりに関する行政の役割としては、①情報共有、②役割分担、③出番創出、④事業構想という4つのステージを通して、地域創生の仕組みを作ることであるとのことでした。</p> <p>全体を通して、基本的なことを一つずつしっかりと積み重ねていくことが地域創生を成功させる最も大切なことであると改めて思いました。自分たちの地域には、どのような資源（歴史・文化・自然等）があるのか、どのような産業が基幹産業なのか、またどのような人財が住んでいるのか。基本的なことではありますが、このような地域の強みのリサーチに基づかない地域創生は結果的に成功しないのだと思います。今後の三田市の進むべき道を考えるうえでも、大変重要な視点を学ぶことができた研修でした。</p>
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日配布資料</li> <li>・パンフレット</li> <li>・当日会場写真</li> </ul>

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

# 地方創生 成功は人にある!

## ～地域創生 実践人財論～



### 講師 木村 俊昭

【東京農業大学教授・  
内閣官房シティマネージャー(特別参与)】

博士(経営学)。1984年小樽市入庁。小樽市産業振興課長・産業港湾部副参事(次長職)、2006年から内閣官房・内閣府企画官、2009年から農林水産省企画官等を経て現職。日本地域創生学会会長、地域活性化学会常任理事、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事等に就任。NHK番組プロフェッショナル「仕事の流儀 木村俊昭の仕事」、新報道2001等に出演。著書に「『できない』を『できる!』に変える」、「地域創生成功の方程式～できる化・見える化・しくみ化～」等多数。

# 10月25日(木) 10:30～17:30 in 東京

1. 地方創生と地域創生
2. 地域創生の構成と政策主体の行政
3. 従来地域のリーダーの資質
4. 人財養成の研修事例の現状
5. 今、求められる地域リーダー像
6. 地域人材から地域人財への進化
7. 地域創生 何からはじめるのか?
8. 情報共有、役割分担、出番創出、事業構想=順番重視
9. 「五感六育」(知育・食育・木育・遊育・職育・健育)度合い
10. 「Why so? So what?」の繰り返しから得るもの
11. 期限は3年間(3+3+6+6)ヶ月×2回が原則
12. まちネットワーク図・産業関連図
13. まち育ては、ひと育てにあり